



■翁昌史さん(左)、中村路子さん
オンライン公民館の発案者。現在は運営メンバーが12人に拡大。2人は久留米を拠点に事業やイベントの企画を行う会社「visionArea」の共同代表

シリーズ みんなで生きる

地域共生社会の実現に向けた、支え合いの取り組みを、全6回のシリーズでご紹介。市ホームページでも、本紙掲載分を含め13回の連載をしています。

1 オンライン公民館

進む取り組みから、地域共生社会実現の視点を考える

みんなが活躍

距離を保つ時代に、心の距離が近づく

今年4月、新型コロナウイルスの流行で公共施設が休館し、市民活動の場が奪われました。そこで生まれたのが新たな交流の場「オンライン公民館」。始めたのは、翁昌史さんと中村路子さんです。参加者はビデオ会議アプリ「Zoom」上で交流します。5月の連休に始まり、毎週日曜に開催。参加者は日を追うごとに増え、多い時は70人ほどが来館しています。コンセプトは「距離を保つ時代に、心の距離がぐっと近まる」。1日に10数個の多彩な企画が並びます。多くの人とつながり合う企画や、久留米紆愛溢れる女性たちのトーク、家族の絆について考える時間など。顔を出して参加しても、顔は出さずラジオを聞くように楽しんでもOK。入退室も自由です。

機能不全を"革命"のきっかけに

「きっかけはコロナでまちに現れた機能不全。公共施設の休館だけで、まちの動きがこんなに止まるんだと実感しました。そんな中でもインターネット上でのコミュニティは動いていたんです」と翁さんは話します。中村さんは「新しい居場所の誕生」と表現。「地域や人との関わり方に起こった革命。関わり方の幅が一気に広がった。顔を出さずに参加できるから、「透明人間」として場にいられる。今まで地域と関わる機会がなかった人も関わりやすいんじゃないかな」。オンラインは距離を超越できるツール。しかし、オンライン公民館は多くの地元の人でにぎわっています。「地域に飛び込むのは敷居が高い」、「家から出るのがおっくう」。近くにいなながらも繋がりができていなかった人たちの心の壁を取り払い、会ったことのない「ご近所さん」が世代や立場を越えてつながっています。

現実の地域と融合した企画も生まれました。7月5日、江上校区まちづくり委員会の池口隆会長が出演し、校区を歩きながら、名所や史跡をクイズ形式で紹介。画面を通して参加者と交流しました。オンラインから現実のつながりも生まれています。

◎地域福祉課 (☎0942・30・9175、FAX 0942・30・9752)

地域共生社会の実現のために、13の取り組みの視点があります。掲載した取り組み事例がどれに当たるかを、黄色で示しました。

この事例はどれ？

地域共生社会に向けた取り組み

13の視点

- ①つながりの構築
- ②見守り活動の推進
- ③誰もが集える場の拡充
- ④個別対応が必要な人への支援
- ⑤災害時要支援者への支援
- ⑥権利擁護の推進
- ⑦多機関連携の推進
- ⑧財源確保の推進
- ⑨地域における人材の育成
- ⑩コミュニティなどへの支援
- ⑪事業者などの地域貢献の促進
- ⑫福祉人材の養成と資質の向上
- ⑬福祉の理解を深める取り組み

市ホームページ「くろめ支え合うプラン」へ



詳細はこちら

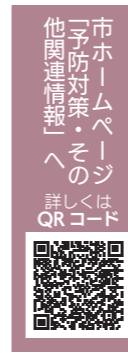


注意ポイントを解説しながら、チラシを渡しました

福岡コロナ警報発動

県内の新規感染者の増加を受

時点の新規感染者は92人となりました。最近では若者に感染が広がっていて、7月の感染者に占める20歳代の割合は、約65%に及びました。比較的軽微な症状が軽く、無症状の人も多くいます。感染経路は、福岡市での感染者との濃厚接触、家庭内感染が全体の40%以上。緊急事態宣言が解除され、密閉・密集・密接した場所での会食などで感染し、家庭や職場などで広まっています。「自分は大丈夫」と安易に考えず、「感染しているかもしれない」という意識を持って行動しましょう。新型コロナウイルスは飛沫や接触によってうつります。3密の回避やマスクの着用、手洗いやうがいなどを徹底しましょう。



市ホームページ「予防対策・その他関連情報」へは詳しくはQRコード

飲食店への啓発も

営業する際の感染防止策などを記載したガイドラインと、感染対策のチェックリストを飲食店に配布し、新型コロナウイルス対策のための助言などを行いました。

◎衛生対策課 (☎0942・30・9726、FAX 0942・30・9833)

◎保健予防課 (☎0942・30・9730、FAX 0942・30・9833)

け、県は8月5日に「福岡コロナ警報」を発動。社会経済への影響をできるだけ小さくし、感染拡大防止を図るため、事業者や県民の皆さんに新たな協力要請を行いました。

コロナに負けない！ 「感染しているかも」という意識で

新型コロナウイルス感染者急増

新型コロナの感染を疑ったら・・・

相談・受診の目安

- 息苦しさや強いだるさ、高熱など **いずれかの症状がある**
- **重症化しやすい人**（高齢の人や糖尿病、心不全といった基礎疾患などがある人）で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状がある
- 上記以外の人で発熱やせきなどの **比較的軽い風邪の症状が続く**
※ 4日以上続く場合は必ず相談を。

相談窓口

久留米市新型コロナウイルス相談センター
☎ 0942・30・9335 FAX 0942・30・9833
土・日曜、祝日も24時間受け付け

家庭内感染を防ぐ8つのポイント

- ①感染者と他の同居者の部屋を分ける
- ②感染者との接触は限られた人で
- ③全員がマスクを着用
- ④小まめにうがい・手洗いを
- ⑤日中は換気を
- ⑥取っ手、ノブなどの共用する部分を消毒
- ⑦汚れたシーツや衣服などを洗濯
- ⑧ごみは密閉して捨てる

差別や偏見をなくそう

新型コロナウイルスに対する不安や恐れから、感染者や医療従事者などへの差別や偏見、誹謗中傷が起きています。全ての人をねぎらい、敬意を払うと共に、人権を大切にして、支え合いましょう。

